

## 研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：極低出生体重児に対するドナーミルク使用の有用性に関する検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 昭和大学病院 NICU に入院されたお子様のうち、極低出生体重児（出生体重 1500g 未満）を対象とします。 研究対象期間：2017 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで
<b>2. 研究目的・方法</b> 2017 年に日本母乳バンク協会が設立されて以降、本邦においても極低出生体重児に対するドナーミルク（他のお母さまの母乳を殺菌処理したもの）の使用が可能となり、2018 年 11 月から昭和大学病院でも積極的に使用しています。海外ではドナーミルクの使用により経腸栄養の確立が早期化したとの報告がありますが、本邦においては使用経験が少なくその有用性が実証されておりません。そこで、本邦において、ドナーミルクの使用により経腸栄養確立に要する日齢が短期化したか調べるため、後方視的検討を計画しました。昭和大学病院 NICU に入院したお子様の診療録を参照し、ドナーミルク使用により出生経腸栄養を開始するまでの時間、経腸栄養確立までの日数を調べます。
<b>研究期間</b> 医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2021 年 3 月 31 日まで
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 患者様の性別、出生体重、在胎週数、アプガースコア、経産の有無、分娩方法、診断名、入院日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、経腸栄養開始日齢、経腸栄養 full feeding 到達日、体重増加など各種データ、記録を使用します。
<b>4. お問い合わせ先</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部小児科学講座

氏名：及川 洸輔

住所：〒142-8555 東京都旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8565

研究責任者：

所属：昭和大学医学部小児科学講座

研究責任者：及川 洸輔

、  
、